

## 記者発表(資料配布)

月/日	担当課(室)係名	TEL(代表)	発表者名	資料配布先
5/18(木) 14:00	県立人と自然の博物館 生涯学習課	079 (559)2001	次長 田原 直樹 (安井 健二)	県教委記者クラブ 三田市政記者クラブ

### 開館25周年記念ミニ企画展

#### 「ひとはく研究員のいちおし25選（初夏の部）」の開催について

#### 1 主旨

兵庫県立人と自然の博物館（ひとはく）は、今年度で25周年を迎えます。

ひとはく開館25周年を記念して、動物や植物、化石など様々なテーマについての展示を、数期に分けて実施します。

初夏の部は、2つのミニ企画展を行います。

#### 2 ミニ企画展名

(1) 「高校生が選ぶ六甲山のキノコ25選」担当：三橋弘宗（別紙1）

(2) 「黒崎先生が選ぶ、拡大して眺める頌栄標本25選」担当：高野温子（別紙2）

#### 3 展示概要

(1) 期 間：平成29年6月3日（土）～ 平成29年7月2日（日）

(2) 場 所：兵庫県立人と自然の博物館 館内（別紙1、2参照）

(3) 展 示 物：別紙1、2参照

(4) 主 催：兵庫県立人と自然の博物館

#### 4 プレビュー

(1) 日 時：平成29年6月2日（金） 午後3時30分～

(2) 場 所：兵庫県立人と自然の博物館 4階 実習室

\* 担当研究員より展示の説明を行います。

#### 5 問い合わせ

兵庫県立人と自然の博物館

電話：079-559-2001

## ミニ企画展「高校生が選ぶ六甲山のキノコ25選」

### 1 主旨

兵庫県立人と自然の博物館では、これまで兵庫県立御影高等学校および兵庫きのこ研究会と協力して、平成21年から毎年2月から5月にかけて、ミニ企画展「六甲山のキノコ展」を開催しています。今年も、5月末まで六甲山で採集したキノコ約500種を展示し、好評のうちに終了いたしました。これに引き続いて、この展示会で活用した標本のなかから25種類に焦点を当てて展示します。

当館は今年で25周年を迎え、この数字にちなんで、兵庫県立御影高等学校の生徒が様々な観点から25種類を選び、その理由やエピソードを交えて紹介していきます。長年、色々なところで活動してきた高校生たちが選んだユニークなキノコをぜひご覧ください。

### 2 展示概要

- (1) 場 所：兵庫県立人と自然の博物館 4階ひとはくサロンギャラリー
- (2) 展 示 物：標本25点および解説
- (3) 協 力：兵庫県立御影高等学校、兵庫きのこ研究会

### 3 担当

兵庫県立人と自然の博物館 自然・環境マネジメント研究部  
主任研究員 三橋弘宗 [hiromune@hitohaku.jp](mailto:hiromune@hitohaku.jp)

### 4 主な展示物

- ・六甲山およびその周辺地域で採集されたキノコの標本25点
- ・選定理由などを説明したパネル



館内や企画展ではいつも500種類のキノコが並ぶ。  
この中から25点を選定し、解説を付けて展示する。

## ミニ企画展「黒崎先生が選ぶ、拡大して眺める頌栄標本25選」

## 1 主旨

頌栄短期大学におられた福岡誠行・黒崎史平両先生が40年かけて作り上げた25万点の植物標本コレクションは、同定の確かさで有名な日本屈指のコレクションであり、2012年人と自然の博物館に寄贈されました。今回博物館開館25周年にちなんで、頌栄標本の中から特に面白いエピソードがあるものを25点黒崎先生に選んで頂き、スキャンして拡大した画像をエピソードと一緒に展示いたします。ただの枯れ草、押し葉と思われがちですが、植物標本には採った人、整理した人、研究した人、色々な人の思いが詰まっています。その一端を感じて頂ければと思います。

## 2 展示概要

- (1) 場 所：兵庫県立人と自然の博物館 3階オープンギャラリー
- (2) 展 示 物：パネル 18点
- (3) 協 力：福岡誠行・黒崎史平（頌栄短期大学名誉教授、兵庫県立大学客員教授）

## 3 担当

兵庫県立人と自然の博物館 自然・環境評価研究部 主任研究員 高野温子

## 展示される標本の写真



記載から20年後に再発見されたオチフジ標本



1938年に三木市の女学生が採集し  
牧野富太郎が命名したシジミヘラオモダカ